



令和2年度
県民世論調査

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. 県の基本政策について
3. 南海トラフ地震対策について
4. 県民の健康づくりについて
5. がん検診について
6. 高知県の文化振興について
7. 障害者スポーツ振興について
8. 県の広報について

高 知 県

はじめに

高知県は、全国に先行した人口の自然減や、これに伴う経済規模の縮小、災害の多発といった数多くの課題に加え、本年は特に新型コロナウイルス感染症という世界的な課題にも直面しています。

こうした困難な課題に県民の皆さまと共に立ち向かっていくため、感染症対策をはじめ、基本政策である産業振興計画の推進による「経済の活性化」、「日本一の健康長寿県づくり」、「教育の充実と子育て支援」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、「インフラの充実と有効活用」の5つの取組を進めるとともに、それらに横断的に関わる政策として「中山間対策の充実・強化」、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」、「文化芸術とスポーツの振興」に向けた取組を、コロナ禍後の社会構造の変化を見据え強化を図りながら進めてまいります。

こうした取組を進めるに当たり、県民の皆様のニーズを的確に把握、分析し、政策づくりに生かすことが大変重要であることから、本年度においても本調査を実施したところです。

本年度は、「新型コロナウイルス感染症対策」「県の基本政策」、「南海トラフ地震対策」、「県民の健康づくり」、「がん検診」、「文化振興」、「障害者スポーツ振興」、「県の広報」の8つのテーマについて、調査を行いました。

これらの調査に集約された県民の皆様の声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

この調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和2年12月

高知県総務部長 井上 浩之

目次

第1章 調査の設計	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の事項	1
3. 調査の対象	1
4. 対象者の抽出方法	1
5. 調査の方法	1
6. 調査の期間	1
7. 実査および集計	1
8. 調査票配布数と回収状況	1
第2章 調査結果の見方	3
第3章 調査対象者の特性	5
1. 住まいの場所(広域市町村圏)別の配布・回収状況	5
2. 対象者の特性.....	5
第4章 調査結果〔解説・グラフ〕	11
1. 新型コロナウイルス感染症対策について.....	11
2. 県の基本政策について.....	22
3. 南海トラフ地震対策について	53
4. 県民の健康づくりについて	122
5. がん検診について.....	146
6. 高知県の文化振興について.....	167
7. 障害者スポーツ振興について	181
8. 県の広報について	193
第5章 調査結果〔数表〕	205
第6章 調査票〔単純集計結果〕	291

<第1章 調査の設計>

第1章 調査の設計

1. 調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (2) 県の基本政策について
- (3) 南海トラフ地震対策について
- (4) 県民の健康づくりについて
- (5) がん検診について
- (6) 高知県の文化振興について
- (7) 障害者スポーツ振興について
- (8) 県の広報について

3. 調査の対象

県内全域から18歳以上の県民3,000人を抽出（各市町村の「選挙人名簿」より）

4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

5. 調査の方法

郵送法

6. 調査の期間

令和2年8月20日（木）～9月14日（月）までの26日間

7. 実査および集計

株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所

8. 調査票配布数と回収状況

配布数：3,000票

有効回収数：1,734票（有効回収率57.8%）

<第2章 調査結果の見方>

第2章 調査結果の見方

1. 「第4章 調査結果 [解説・グラフ]」は「第5章 調査結果 [数表]」に基づき、要点のみを記述してあるので、「第5章 調査結果 [数表]」をあわせて参照すること。
2. 「第5章 調査結果 [数表]」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（%）算出の基礎となっている。
3. 「第5章 調査結果 [数表]」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率（\%）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4. 質問への回答方法は「1つだけ○印（どちらかに○印）」、「2つまで○印」、「3つまで○印」、「当てはまるものすべてに○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 副問については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）及び回答者別（質問間クロス）で分析した。

F1 性別 … 男性、女性、その他の3種類に分類

F2 年代別 … 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の7階層に分類

F3 職業別 … 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦・主夫、学生、無職、その他の12種類に分類

F4 属性別 … 世帯主、世帯主ではない（世帯員）の2種類に分類

F5 婚姻状況別 … 未婚、既婚、その他（離別、死別を含む）の3種類に分類

F6 子どもの状況別 … 就学前の子どもがいる、小・中学生の子どもがいる、高校生の子どものいる、大学生・専門学校生等の子どもがいる、子どもは成人している又は独立している、子どもはいないの6種類に分類

F7 世帯年収別 … 0～100万円未満、100～200万円未満、200～300万円未満、300～400万円未満、400～600万円未満、600～800万円未満、800～1,000万円未満、1,000万円以上の8種類に分類

F8 住まいの状況別 … 持家、借家の2種類に分類

F9 住まいの場所別 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類

F10 住まいの地域別 … 沿岸部、非沿岸部の2種類に分類

※対象者の職業別、広域市町村圏別及び住まいの地域別判定は次のとおりである。

◆職業別

農 林 業	} (主婦・主夫の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を選択)
漁 業	
商工サービス業自営	(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事 務 職	(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く)
技 術 職	(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士、教員など、課長以上を除く)
労 務 職	(現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管 理 職	(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自 由 業	(医師、弁護士、画家、僧侶など)
主 婦 ・ 主 夫	(家庭内の仕事が一日で最も多い場合)
学 生	(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無 職	(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
そ の 他	(上のいずれにも属さないもの)

◆住まいの場所別 (広域市町村圏別)

高 知 市

安芸広域圏 室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村

南国・香美広域圏 南国市、香南市、香美市

嶺北広域圏 本山町、大豊町、土佐町、大川村

仁淀川広域圏 土佐市、いの町、日高村

高吾北広域圏 佐川町、越知町、仁淀川町

高幡広域圏 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町

幡多広域圏 宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

◆住まいの地域別

居住地が沿岸部であると判断する目安は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5km（または車で約10分）を目安とする。

<第3章 調査対象者の特性>

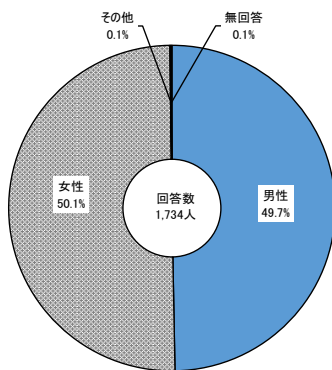
第3章 調査対象者の特性

1. 住まいの場所(広域市町村圏)別の配布・回収状況

住まいの場所 (広域市町村圏)	配布数(人)	有効回収状況		
		回答数(人)	回収率(%)	構成比(%)
高知市	1,367	778	56.9	44.9
安芸広域圏	206	109	52.9	6.3
南国・香美広域圏	446	286	64.1	16.5
嶺北広域圏	50	36	72.0	2.1
仁淀川広域圏	233	121	51.9	7.0
高吾北広域圏	101	56	55.4	3.2
高幡広域圏	233	145	62.2	8.4
幡多広域圏	364	186	51.1	10.7
(無回答)		17		1.0
計	3,000	1,734	57.8	100.0

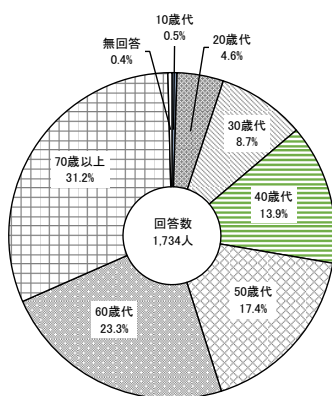
2. 対象者の特性

F1 性別



区分	回答数(人)	構成比(%)
男性	862	49.7
女性	868	50.1
その他	2	0.1
(無回答)	2	0.1
計	1,734	100.0

F2 年代別



区分	回答数(人)	構成比(%)
10歳代	8	0.5
20歳代	80	4.6
30歳代	151	8.7
40歳代	241	13.9
50歳代	302	17.4
60歳代	404	23.3
70歳以上	541	31.2
(無回答)	7	0.4
計	1,734	100.0

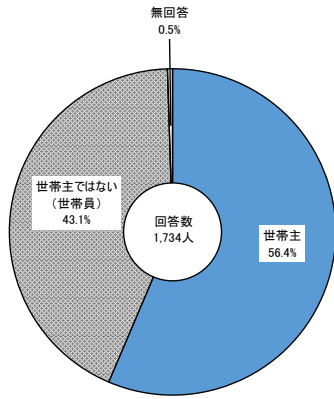
F 3 職業別

	回答数
全体	100.0 1,734 人
農林業	5.0 87 人
漁業	0.6 10 人
商工サービス業自営	7.4 129 人
事務職	9.7 169 人
技術職	10.8 188 人
労務職	11.4 198 人
管理職	3.9 68 人
自由業	1.9 33 人
主婦・主夫	11.2 194 人
学生	1.8 32 人
無職	25.7 445 人
その他	9.6 166 人
無回答	0.9 15 人

グラフ単位：(%)

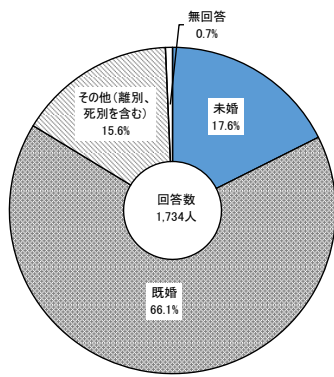
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	87	5.0
漁業	10	0.6
商工サービス業自営	129	7.4
事務職	169	9.7
技術職	188	10.8
労務職	198	11.4
管理職	68	3.9
自由業	33	1.9
主婦・主夫	194	11.2
学生	32	1.8
無職	445	25.7
その他	166	9.6
(無回答)	15	0.9
計	1,734	100.0

F 4 世帯主・世帯員別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
世帯主	978	56.4
世帯主ではない (世帯員)	747	43.1
(無回答)	9	0.5
計	1,734	100.0

F 5 婚姻状況別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
未婚	305	17.6
既婚	1,146	66.1
その他	270	15.6
(無回答)	13	0.7
計	1,734	100.0

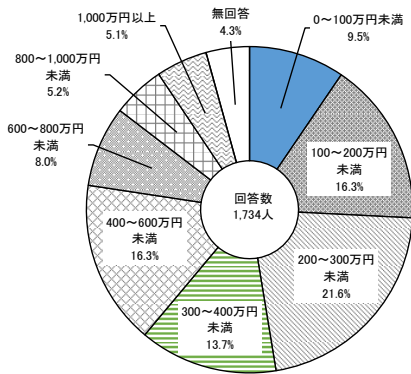
F 6 子どもの状況別（複数回答）

		回答数
全体	100.0	1,734 人
就学前の子どもがいる	6.8	118 人
小・中学生の子どもがいる	10.6	183 人
高校生の子がいる	5.2	90 人
大学生、専門学校生等の子どもがいる	5.5	96 人
子どもは成人している又は独立している	57.3	994 人
子どもはいない	23.5	407 人
無回答	2.2	38 人

グラフ単位：(%)

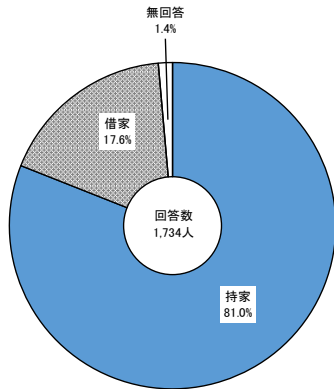
区 分	回答数（人）	構成比（%）
就学前の子どもがいる	118	6.8
小・中学生の子どもがいる	183	10.6
高校生の子がいる	90	5.2
大学生、専門学校生等の子どもがいる	96	5.5
子どもは成人している又は独立している	994	57.3
子どもはいない	407	23.5
（無回答）	38	2.2
計	1,734	100.0

F 7 世帯年収別



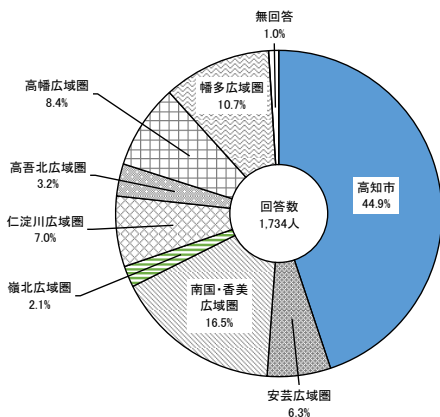
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
0~100万円未満	164	9.5
100~200万円未満	283	16.3
200~300万円未満	375	21.6
300~400万円未満	238	13.7
400~600万円未満	283	16.3
600~800万円未満	138	8.0
800~1,000万円未満	90	5.2
1,000万円以上	89	5.1
(無回答)	74	4.3
計	1,734	100.0

F 8 住まいの状況別



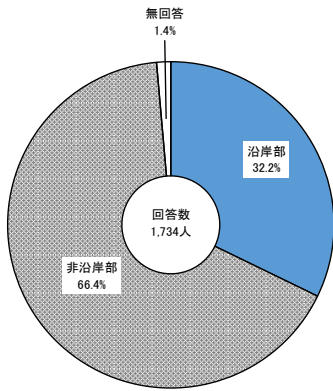
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
持ち家	1,405	81.0
借家	305	17.6
(無回答)	24	1.4
計	1,734	100.0

F 9 住まいの場所 (広域市町村圏) 別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
高知市	778	44.9
安芸広域圏	109	6.3
南国・香美広域圏	286	16.5
嶺北広域圏	36	2.1
仁淀川広域圏	121	7.0
高吾北広域圏	56	3.2
高幡広域圏	145	8.4
幡多広域圏	186	10.7
(無回答)	17	1.0
計	1,734	100.0

F 1 0 住まいの地域別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
沿岸部	558	32.2
非沿岸部	1,151	66.4
(無回答)	25	1.4
計	1,734	100.0